

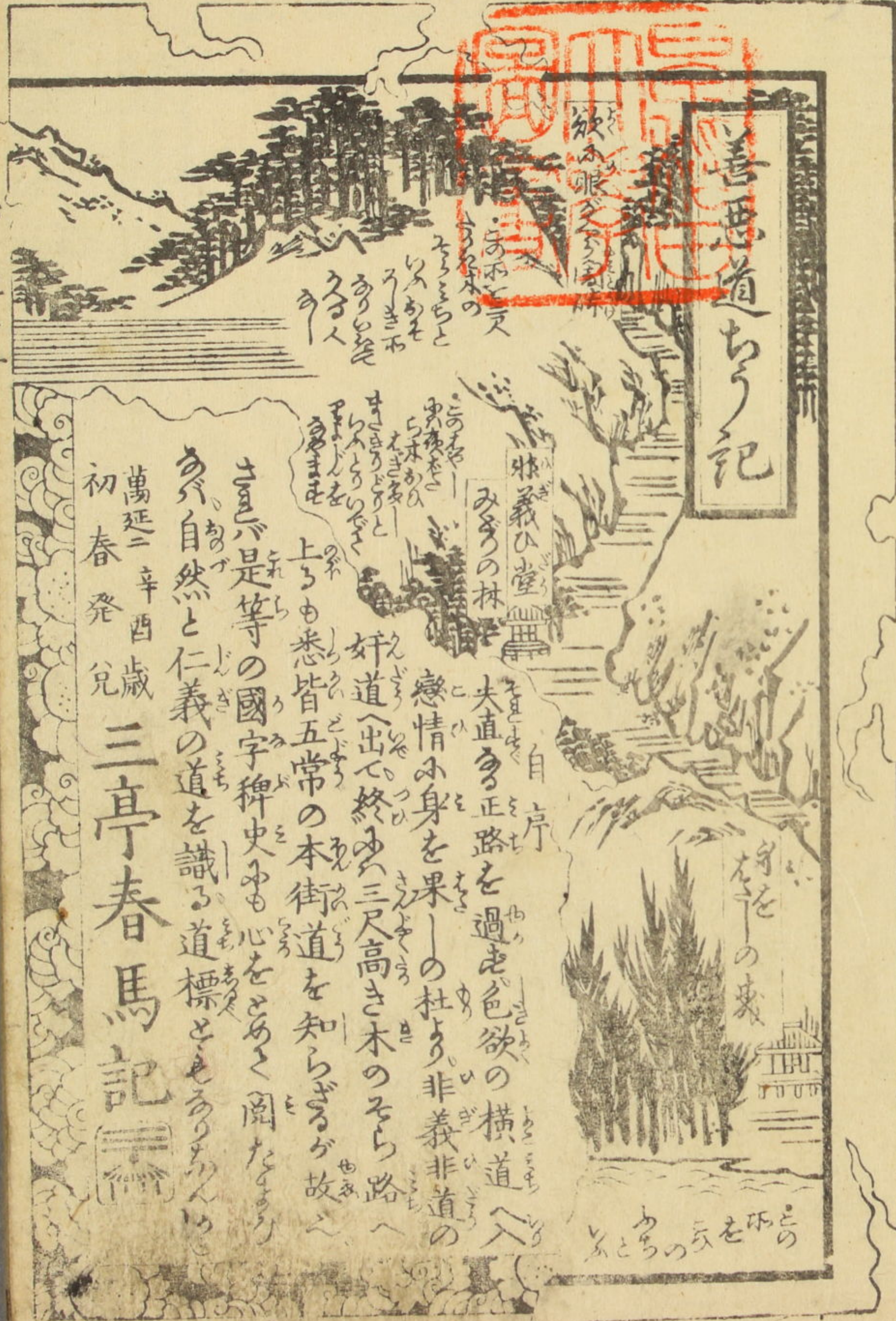
紅  
英  
堂  
梓

仆題四五

十三編上

~ 13  
3750  
24

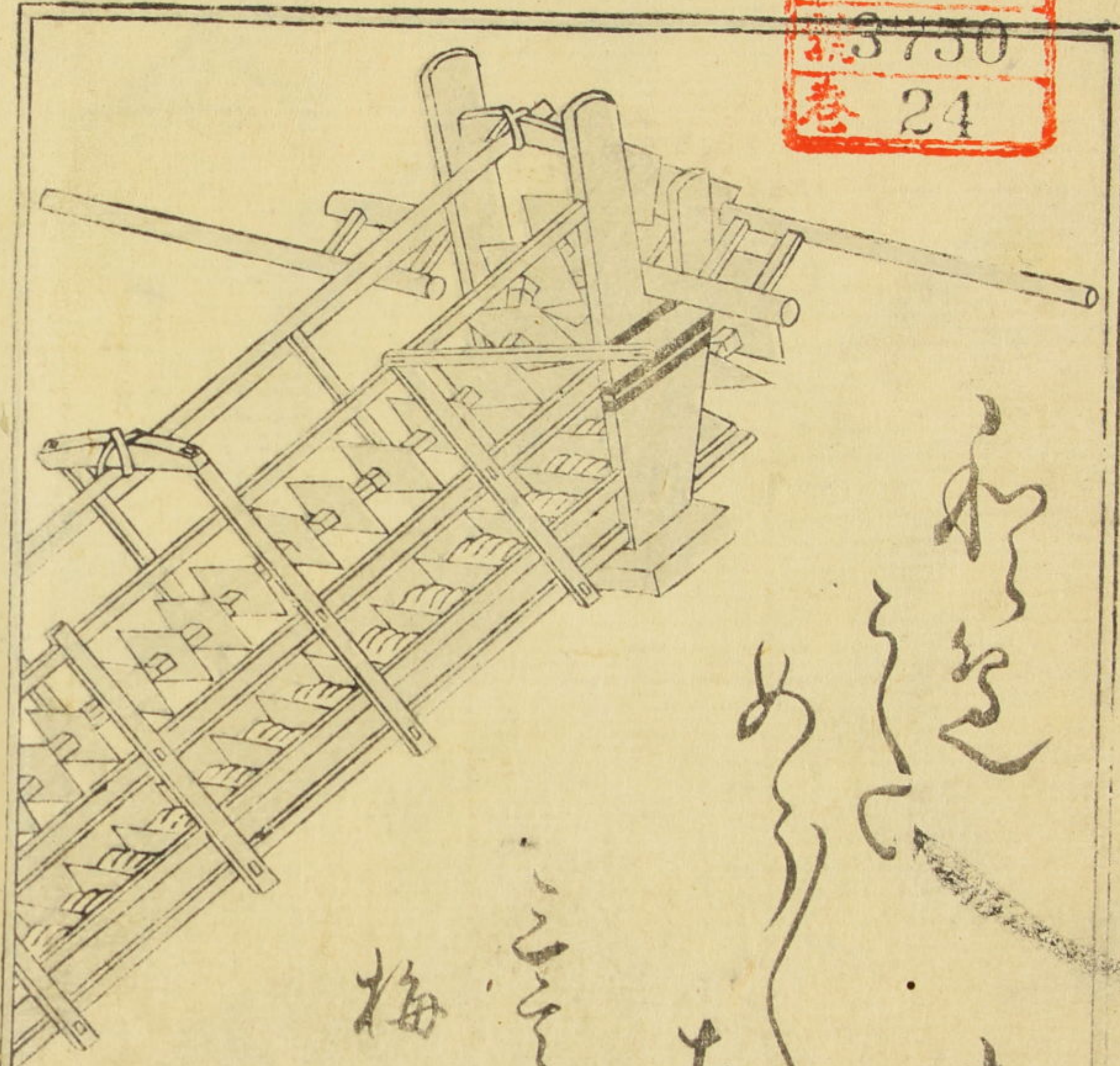




善悪道ちり記

夫直多正路を過る色欲の横道へ入  
 感情小身を果一の杜より非義非道の  
 奸道へ出て終つて三尺高き木のそら路へ  
 上りも悉皆五常の本街道を知らざるが故  
 是等の國字稗史も心をとめて圖たを  
 自然と仁義の道を識る道標ともありあらん  
 萬延二辛酉歳 三亭春馬記  
 初春発兌

13  
 3750  
 卷 24



水邊  
 十二  
 月

梅蝶樓園之画  
 ねまき  
 春梓

花模擬卷中肖像



雨中の  
花よ  
玉苗



おのづから  
志願  
おのづから  
あをき  
おのづから  
少きくら

神の  
おのづから  
魔度六

少々車十三

如來車



深窓の  
 名も  
 家入  
 片ふた  
 重三郎  
 花垣  
 重三郎

少々車

解り  
 小雲  
 おの  
 いと  
 げら

曲五同主



接る  
 丹  
 癖  
 眼  
 接る  
 癖

女









一の巻々  
 この  
 少  
 人の  
 本  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の

本の  
 本の  
 本の  
 本の

本の  
 本の  
 本の  
 本の



本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の

本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の

本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の  
 本の



あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六

あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六  
あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六



七  
清  
あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六

あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六  
あああ  
つらつら  
平の  
杉林  
五十六









# 春馬作

# 國貞画



三の巻  
 渚  
 春馬作  
 國貞画  
 此の巻は、春馬の渚に於ける物語を、國貞の筆で描かれた。渚の風景は、遠く山々、近き田舎、そして渚の静けさが、春馬の心象を映し出している。

## 實母散

本家  
 松方実母さんの養ひ中から、南七人、田一丁目、西六、  
 〇〇年来賣り、ある店も各々、自ら、又、同、  
 向も、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、  
 中橋南傳馬町一丁目、東、  
 千葉堂孝輔製

## 新局九尾傳

四編より  
 九編より  
 出版社  
 爲永春水作  
 梅蝶樓國貞画

## 鼠祠通夜譚

初へんより  
 追々出版  
 柳亭種彦作  
 梅蝶樓國貞画

信列鼠の里ある和泉小僧と云少年鎌倉殿の脱逃三浦二階堂其  
 諸大家めて詩書の財寶を盗と名を高くせし物語耳新  
 和列山辺氏の貞盛の事蹟小綴合せしものなり預高評と香

